

楽しく献血

SUBJECT

ここ10年で若者の献血者数が**約30%も減少**しています。

厚生労働省の若者の献血未経験者5000人に対する調査では56.3%が献血に関心がありません。理由として「面倒くさい」「なんとなく」「人を救うことに興味が無い」などが挙げられます。

血液には有効期限があり長期保存ができません。輸血用の血液を使うのは8割が高齢者であり献血を必要とする人間は増える一方で若者の献血率は減少の一途をたどっています。近い将来**85万人分の血液が不足**し日本の医療システムの崩壊へと繋がります。

このままでは日本の**未来**が危ない!!

そこで・・・

吸血鬼を題材にし

若者に人気の**脱出ゲーム**とコラボ

新しい型の**献血**

を提案します

POINT

① 入場料無料!!

日本赤十字社はPRのために様々なイベントを開催してきました。この案は献血が目的なので入場料は無料です。

② 遊んで学ぶ

献血に関する知識が無い若者が多いことが、献血離れ生んでいます。そこでゲームに出題されるミッションは全て献血に関する情報となっており、クリアして進んでいくと献血に対する知識が深くなっていきます。

③ ゲームの世界観で献血

ゲームの世界に参加することで献血に対する意識を変えます。

ゲームクリア出来なかった場合、ドラキュラが参加者を捕獲し吸血の代わりに献血を行います。ゲーム前に同意書を提出してもらい、貧血などで献血できない人は十字架を持った牧師さんが助けくれますが、献血に関する話「説教」を受けます。

最後に

献血は日本の医療にとって無くてはならない大切なシステムです。この案で少しでも多くの人に献血を知り身近に感じてもらいたいそして、問題に対して考え、取り組んでいく事で助け合いの社会を目指したいです。

④ 施設の集約化

各都道府県に献血ルームがありますが、1~2ヶ所しかありません。地方では献血バスが巡回していますが日にちや時間が制限されます。

そこで、この施設を観光地にすることで全国から参加者を集めます。また修学旅行を誘致することで学校側は、「学習の場」としてのメリットも期待できます。

⑤ リピーターの確保

ミッションや脱出方法を定期的に変えることでリピーターを確保します

